

「仙台塩釜港長期構想委員会 第3回委員会」の概要

＜委員会の趣旨＞

県では学識経験者や経済団体、港湾関係者、港湾所在自治体や国関係機関等を構成員とする「仙台塩釜港長期構想委員会」を立ち上げ、概ね20～30年先を見据えた仙台塩釜港のあり方、港湾空間の利用方針等について検討を進めているところです。

11月に開催した第2回委員会を踏まえ、「仙台塩釜港長期構想（中間案）」について議論するため、以下のとおり第3回委員会を開催しました。

＜概要＞

- ・日 時：令和8年3月24日（火）午後2時から4時半まで
- ・場 所：TKPガーデンシティ仙台
- ・出席者：学識経験者、経済団体、港湾関係者、国・関係市町（委員28名+オブザーバー1名=合計29名） 対面・web
- ・内 容：○ 仙台塩釜港の主要施策
○ 長期的な港湾空港利用方針（案）など

（開催状況）



＜各分野における主な意見＞

【物流】

- 物流に関する課題・論点整理としては、将来成長に繋がるような、より前向きな表現として整理することが重要。
- 港湾 DX と人材戦略の一体化で、女性やシニア層が能力を最大限に発揮できる活躍の場など、多様な人材が働ける環境づくりを打ち出してほしい。

【防災】

- 港湾 BCP については、様々なテロ対策も含めるなど、あらゆる事態を想定した計画とすることが重要。

【観光・交流】

- クルーズ船や港湾労働者など、外国人が増えてきている状況にあることから、多言語表記など多様な人々が快適に観光できる仕組みを検討して欲しい。
- 観光客だけでなく常設マーケットやマルシェなど日常使いにつながるような視点で施策を検討することが重要。

＜仙台塩釜港全体にかかる主な意見＞

- ゾーニングについては、既存ストックを最大限に活用するとともに、必要な新たな空間利用（開発）を配置するような表現となるよう工夫して欲しい。
- パブリックコメントの実施に当たり、港湾に関する知識レベルが様々な方を想定し、理解の補足となるような情報（現状と課題、位置付けなど）も追加してはどうか。